

## 日本洋書協会会報

BULLETIN OF JAPAN ASSOCIATION  
OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

## 目次

- 理事会報告／第3回東京古書会館セール ……1
- ロンドン・ブックフェア2007 ……2
- 2006年洋書輸入統計〔後編〕 ……3

## 理事会報告

日時：2007年4月23日（月）

## 1. 委員会報告

- ・2006年度決算および2007年度予算案を審議の結果、了承された。赤字の出ている古書会館セールは出展社の意向を聞き継続の可否を決める。
- ・関西パーティーの開催は新理事会に一任する。
- ・ボーリング大会の開催は承認された。

## 2. 理事長から

役員辞任が有った場合の対処が提案され、討議をおこなった。今回は理事定員の変更等の動議は出さず、万一役員の辞退が会った場合は新理事会で定款に沿っ

た対処を行うこととした。

## 3. その他

- ・村田会長辞任の件は了承された。当面会長職は空席とする。
- ・選挙管理委員会が発足し、委員が了承された。
- ・ファイドン株の入会審査は承認された。
- ・光洋書の退会は承認された。
- ・東京外郵便協会の一部事務の引き受けは承認された。
- ・韓国輸入協会との懇親会は7月5日に、歓迎ゴルフコンペは翌6日に行う。

## 第3回東京古書会館セール

3月20日（火）～21日（水・祝）の2日間、会員10社、他1社が参加し、神田小川町の東京古書会館でセールを行いました。

昨年の11月に続いて3回目の開催となりました。毎回の課題である集客向上をめざし、事前に会場でのポスター掲載、チラシを丸善丸の内本店、三省堂神田本店で配布、英文読売などのパブリシティーへの出稿、過去の顧客へのDM、協会HPでの案内、会期中の駿河台下でのビラまきなど周到な準備を行って臨みました。

今回も初日の開催前に10名程の開場待ちの行列ができ、大いに期待しましたが、残念ながら、前回は若干下回る結果となってしまいました。特に2日目は休日でしたので、一般の方の来場を当て込んだのですが、お彼岸でしたので、皆さん墓参りだったのでしょうか。とはいえ、来場者数は確実に増え、前回の5割増位で、常時お客様が入っている状況でした。

今回も売れ筋としては前回同様、ビジュアル系が大

半でしたが、専門書もまとめ買いされる方も見受けられました。

事業委員会としましては、このセールをTIBFに並ぶもう1本の柱と位置づけ、発展させて行きたいと考えて進めてまいりましたが、1回行った結果を踏まえ、今後の方針を纏めたいと思います。

課題としましては、さらなる集客のための宣伝方法、出展内容の検討、開催時期・場所の再考などが挙げられます。特に大きな負担となっている会場費を何とかしたいと思っています。

今回、赤字覚悟で出展いただきました会員各社、会場でお手伝い頂いた皆様、率先してビラまきを行ってくださった若手の方々、ほんとうにありがとうございました。「次はいつやるの？」と必ず質問されるお客様のためにも、洋書の購読者の底辺を広げるためにも、協会の知名度向上のためにも何とか続けていきたいと個人的には思っております。

(M. S. 記)

# ロンドン・ブックフェア 2007

国際的な書籍展として近年重要性を増しつつあると言われるロンドン・ブックフェアは今年で第36回を数え、4月16日から18日の日程で開催されました。書籍展と言うとまずフランクフルト書籍展ですが、ロンドン書籍展の特徴は訪問客を含めて全てプロフェッショナルの集まりということでしょうか。入場者数で言えばフランクフルト約27万人の10分の1を少し下回る約2万4,000人、また出展社数で言えばフランクフルト約7,000社の3分の1をかなり下回る約2,000社といったところですが、純粋に業者の集まる書籍展というこ

とで、フランクフルトに匹敵する効果をあげ得ると言っても過言ではないでしょう。特に科学・技術・医学系専門書（STM）の分野については、展示場の一定の場所に集中してブースが設けられており、3日間の会期で十分に仕事を済ますことが出来ます。またロンドンの特徴の一つとして、ぞっき本（remainders）の展示社が多いことが挙げられます。このことが図書館員の参加が多い理由になっているとも言われます。さらに版權仲介業者のためにかなり広い場所を特別に設けているのも特徴と言えるでしょう。

今回の特記事項としてはまず場所と期間のことを挙げなければなりません。一昨年までの場所はオリンピック（Olympia）というロンドン市内の西方にある見本市会場でしたが、手狭になったため、昨年はロンドン市内の東端にあるドックランド（Docklands）という地域に設けられたエクセル（ExCel）という見本市会場を使用しました。これが案の定不評で、付近に宿泊施設もなければ食事をとる所にも事欠く、要するに不便な場所でした。ということで今年はアールズコート（Earls Court）という、前述のオリンピックに近い場所に移され開催されました。アールズコートは宿泊施設の多いケンジントンに近く、また地下鉄を下りてすぐ目の前というのもありがたいことでした。会場は充分広く、後方にはまだ使っていないスペースもかなりあ



写真提供：Mark Gresham氏

ります。通路もゆったりとし、食事をとる場所も充分しつらえてあり、気分的にも楽でした。しかし従来の3月開催が崩れることになりました。毎年3月開催の別の展示会が既にかなりあるものと推測されます。因みに来年は4月14日から16日までです。今年から曜日も従来の日曜日始まりが月曜日始まりに変わっています。4月開催ということについて言えば、フランクフルト書籍展からちょうど半年離れているということ、むしろ好ましいことと考えられます。

先到大雑把な数字を幾つか挙げましたが、発表されているところでは、今年は参加国59ヶ国、展示社数1,996社、入場者数23,700人となっています。ここ3年程は似たような数字で推移しています。日本からの出展社はまだ少なく、今年は僅かに4社、そのうち3社は版權仲介業者、もう1社は東京国際ブックフェアです。実質的な展示社はなかったことになります。ブースなしの参加は協会加盟社からも何社かお見えでした。アジアからの出展社では中国（42）が断然多く、インド（24）、シンガポール（15）、タイ（12）、香港（7）、韓国（5）、マレーシア（4）、スリランカ（1）と続いています。中国の出展社の多くは集合ブースでの参加でした。アジアからの出展社では印刷業者が多いのが目立ちました。

（医学書院 乗原七男）

## 2006年(平成17年)1月～12月の洋書輸入統計(後編)

荒 木 亮 一

2月27日に中国株急落で始まった世界同時株安で、ニューヨーク市場でも株とドルが大幅に下落して同時多発テロ以来の事態となり、東京の外国為替市場は一時不安定で「円キャリートレード」の資金の流れが変わるなど、海外ファンドにも大きいマイナスの影響が出たようである。一時¥120台まで進んだ円安も、その後円高不安へと変貌した。報告を書き始め、何故か、歴史の書で読んだ1929年10月24日世界大恐慌の幕開けとなった「暗黒の木曜日」、混乱したウォール街の話を連想した。

### 4. マイクロフィルムの輸入通関統計

表4 1999～2006年の推移(単位 百万円)

| 品名/年     | 1999 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 前年比 | 99:06 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-------|
| マイクロフィルム | 421  | 431  | 443  | 413  | 357  | 239  | 202  | 165  | 82% | 39%   |

☆マイクロフィルムに含まれるのは(露光し、かつ、現像したものに限る)である。輸入額は前年比で2005年の15%に続き2006年も18%の減少であった。最も輸入量が多かった1990年(¥780百万)と比較すると2005年がほぼ1/4、2006年は1/5となった。統計のリストを見ると9ヶ国から輸入があり、フィリピンとインドネシアの2ヶ国が加わり、2005年に輸入があった台湾が抜けていた。量的には米国は変わらず1位であるが、やはり前年比が2005年の14%減につづき20%の減少であるが、構成比では約84%と2%減とほぼ横ばい。2位は英国、3位がオランダ、以下ドイツ、シンガポール、フランス、中国、フィリピン、インドネシアの順であった。

### 5. "CD-ROM"の輸入通関統計

表5 1999年～2006年の推移(単位 百万円)

| 品名/年          | 1999   | 2000   | 2001   | 2002   | 2003   | 2004   | 2005   | 2006   | 前年比  | 99:06 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|-------|
| CD-ROM<br>(1) | 38,283 | 47,584 | 53,252 | 44,424 | 39,231 | 37,078 | 34,397 | 39,206 | 114% | 102%  |
| CD-ROM<br>(2) | 5,552  | 9,948  | 13,078 | 16,073 | 17,836 | 23,263 | 28,766 | 31,412 | 109% | 566%  |
| 計             | 43,835 | 57,532 | 66,330 | 60,497 | 57,067 | 60,341 | 63,163 | 70,618 | 112% | 161%  |

☆(1)類が「音声及び画像以外の記録の再生用のもの」、(2)類は「その他のもの(註:音声のみの再生用のものを除く)」と定義されている。因に、(1)類は、マイクロフィルムやマイクロフィッシュが曾てカバーした知識や情報、辞書・辞典などを記録したものが中心であると思う。(2)類の輸入は年ごとに増加しており、表に示す範囲内で8年で556%へ上昇と需要の伸びが見られる。書籍・雑誌の合計額を金額的には40%も凌いだ。2006年の書籍・雑誌 vs CD-ROMは42:58で、2005年度の44:56を上回っているのも注目にする。

(1)類は48ヶ国からの輸入である。原産地別に見ると、最大手の米国は42%(¥16,609百万)と2005年度より構成比はマイナス2%である(輸入額は9%増)以下、アイルランド13%、シンガポール11%とそれぞれ-1%、ドイツ6%と同率、フランス3.9%、英国3.5%、イスラエルからの輸入も堅調で約3.1%と0.3%ほど伸ばした。

(2)類は44ヶ国から輸入があり、シンガポールが前年度を5%上回り23%でトップの座につき、前年度最高だった台湾を凌いだ。台湾は3%伸ばし27%。その他では香港10%強、香港10%ジャスト、米国10%弱などである。

(1)類と(2)類の輸入額国別比率を、2005年 vs. 2006年でみると、欧米は、米国(84:16) vs. (85:15)、ドイツ(68:32) vs. (62:38)、フランス(94:6) vs. (95:5)、アイルランド(99:1) vs. (99:1)。東南アジアは、シンガポール(39:61) vs. (33:67)、台湾(9:91) vs. (5:95)、香港(3:97) vs. (6:94)、韓国(6:94) vs. (28:72)である。欧米諸国からは主に情報、アジア圏からはエンターテインメント、ということであろう。後者の状況がマスコミにより報道されたこともある。その他に少量ではあるが、ラトビア、リトアニア、アンティグア・バーブーダ、トーゴなど、珍しい国々がリストに名を列ねている。参考書を開いてみると、アンティグア・バーブーダ(Antigua・Barbuda)は、Leeward諸島(プエトリコの東南)の2つの島で、アンティグア島は、面積442km<sup>2</sup>、首都 St. John's で西インド諸島

国家連合（West Indies Associated States）に属する。西インド諸島国家連合とは、西インド諸島の Lesser Antilles 中の Antigua, Dominica, Grenada, St. Christopher, St. Lucia（1979年独立）、St. Vincent が連合して 1967年成立した英連邦内の国家連合、と記されている。バルブダ島も Leeward 諸島にあり、面積161km<sup>2</sup>。トーゴ（Togo）は、アフリカ西部 Guinea 湾に臨む共和国、元フランス信託統治領（Togoland）であったが1960年独立、面積567,000km<sup>2</sup>、因に、国旗はグリーン、イエロー、レッドの3色旗である。これらは、民族音楽・文化などを収めた CD であろうか。

## 6. その他の国からの輸入通関統計

表6 国別輸入通関額による順位表（単位 百万円）

| 国名        | 2006年1-12月の輸入額 |        |        | 2005年実績<br>書籍+雑誌 | 2006年<br>前年比 | 2005年<br>総合順位 | 2006年<br>総合順位      |
|-----------|----------------|--------|--------|------------------|--------------|---------------|--------------------|
|           | 書籍             | 新聞・雑誌  | 合計     |                  |              |               |                    |
| 主要10ヶ国の合計 | 34,131         | 15,637 | 49,768 | 47,606           | 105%         | (1~10)        | (1~10)<br>(表3-a参照) |
| ブラジル      | 227            | 284    | 511    | 466              | 109.7%       | 11            | 11                 |
| タイ        | 365            | 31     | 396    | 404              | 98.0%        | 12            | 12                 |
| スイス       | 188            | 93     | 281    | 262              | 107.3%       | 14            | 13                 |
| 台湾        | 158            | 17     | 175    | 267              | 65.5%        | 13            | 14                 |
| マレーシア     | 174            | 0      | 174    | 197              | 88.3%        | 15            | 15                 |
| オーストリア    | 11             | 90     | 101    | 82               | 123.2%       | 18            | 16                 |
| スペイン      | 93             | 6      | 99     | 151              | 65.6%        | 16            | 17                 |
| オーストラリア   | 33             | 36     | 69     | 72               | 95.8%        | 20            | 18                 |
| ベルギー      | 36             | 21     | 57     | 84               | 67.9%        | 17            | 19                 |
| カナダ       | 24             | 16     | 40     | 78               | 51.3%        | 19            | 20                 |
| ロシア       | 35             | 2      | 37     | 56               | 66.1%        | 21            | 21                 |
| インド       | 26             | 4      | 30     | 34               | 88.2%        | 24            | 22                 |
| *スロバキア    | 26             | 0      | 26     | 6                | 433.3%       | 35            | 23                 |
| スウェーデン    | 24             | 0      | 24     | 27               | 88.9%        | 26            | 24                 |
| デンマーク     | 14             | 2      | 16     | 48               | 33.3%        | 22            | 25                 |
| *メキシコ     | 14             | 0      | 14     | 7                | 200.0%       | 31            | 26                 |
| *アラブ      | 13             | 1      | 14     | 6                | 233.3%       | 33            | 27                 |
| ポーランド     | 9              | 3      | 12     | 27               | 44.4%        | 27            | 28                 |
| インドネシア    | 9              | 1      | 10     | 8                | 125.0%       | 30            | 29                 |
| *イスラエル    | 7              | 2      | 9      | 6                | 150.0%       | 34            | 30                 |
| 小計 (1)    | 1,486          | 609    | 2,095  | 2,288            | 91.6%        | ~             | ~                  |
| その他の国々    | 43             | 13     | 56     | 162              | 34.6%        | ~             | ~                  |
| 小計 (2)    | 1,529          | 622    | 2,151  | 2,514            | 85.6%        | ~             | ~                  |
| 合計        | 35,660         | 16,259 | 51,919 | 50,120           | 103.6%       | ~             | ~                  |

☆主要10カ国の輸入額合計の構成比は前年比1%アップである。その他の国々の構成比は約4%となり、前年比1%ダウン。上位10ヶ国の重要度が増したことになる。2006年度は、\*印の4ヶ国（スロバキア、メキシコ、アラブ、イスラエル）が入り、昨年注目したブルガリア、リトアニア、ハンガリー、アイルランドが姿を消した。

## 7. 洋書関連品目輸入額統計

表7 輸入額内訳表（単位 百万円）

| 品 目             |              | 2005<br>輸入価格 | 2006<br>輸入価格 | 前年比  | 1998<br>輸入価格 | 過去10年間<br>の成長度 |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|------|--------------|----------------|
| 幼児用の絵本及び習字本     |              | 4,078        | 4,546        | 111% | 2,183        | 208%           |
| 楽 譜             |              | 742          | 727          | 98%  | 818          | 89%            |
| 地図・<br>海図<br>など | 地球儀・天体儀      | 396          | 375          | 95%  | 112          | 335%           |
|                 | 製本したもの       | 63           | 75           | 119% | 177          | 42%            |
|                 | その他のもの       | 505          | 578          | 114% | 416          | 139%           |
|                 | 小 計          | 964          | 1,028        | 107% | 705          | 146%           |
| 葉書、印刷したカードなど    |              | 1,558        | 1,073        | 69%  | 1,276        | 84%            |
| カレンダー           | 紙製又は板紙製      | 2,907        | 2,827        | 97%  | 1,944        | 145%           |
|                 | その他のもの       | 151          | 227          | 150% | 146          | 155%           |
|                 | 小 計          | 3,058        | 3,054        | 100% | 2,090        | 146%           |
| その他の<br>印刷物     | 広告・商業用カタログなど | 8,316        | 8,957        | 108% | 5,406        | 166%           |
|                 | 写真           | 2,282        | 2,065        | 90%  | 1,238        | 167%           |
|                 | 絵画・デザインなど    | 2,414        | 2,444        | 101% | 3,077        | 79%            |
|                 | その他のもの       | 16,705       | 17,270       | 103% | 34,048       | 51%            |
|                 | 小 計          | 29,717       | 30,736       | 103% | 43,769       | 70%            |
|                 | 郵便切手・収入印紙など  | 9,796        | 4,997        | 51%  | 415          | 1,204%         |
| デカルコマニア         |              | 888          | 1,134        | 128% | 937          | 121%           |
| 設 計 図           |              | 592          | 133          | 22%  | 331          | 40%            |
| 合 計             |              | 51,393       | 47,428       | 92%  | 52,524       | 90%            |

☆2006年は「幼児用の絵本」、「地図・海図・地球儀」、「デカルコマニア」が引き続き伸びを示している。近年の通販生活を反映してか「広告・商業用カタログ」も堅調である。その他のラインが低調に終わり、全体としては8%のダウンである。その中で最もマイナス影響の大きかったのは「郵便切手・収入印紙など」である。フランスからの輸入額が急落、前年比49%の¥4,720百万に留まっている。主要国からの輸入は勿論であるが、2006年度はガテマラ、キューバ、ハイチ、ドミニカ、コロンビア、ケニヤ、サモアなどからも輸入があり、内容が興味をそそる。

## 8. 参考資料（輸出通関統計）～I

表8 2005年 vs. 2006年輸出統計表（単位 百万円）

| 品 目                          |              | 2005<br>輸出価格 | 2006<br>輸出価格 | 前年比  | 2006<br>構成比 |
|------------------------------|--------------|--------------|--------------|------|-------------|
| 書籍<br>及び<br>それに<br>類する<br>もの | 単一シートのもの     | 470          | 545          | 116% | 3%          |
|                              | 辞典及び事典       | 42           | 73           | 174% | 0%          |
|                              | その他のもの       | 9,806        | 10,305       | 105% | 65%         |
|                              | 幼児用絵本        | 24           | 236          | 983% | 1%          |
|                              | 小 計 (1)      | 10,342       | 11,159       | 108% | 70%         |
|                              | 楽譜           | 123          | 109          | 89%  | 1%          |
|                              | 地図・海図        | 48           | 82           | 171% | 1%          |
|                              | 小 計 (2)      | 171          | 191          | 112% | 1%          |
| 新聞・雑誌                        | 週に4回以上発行するもの | 13           | 24           | 185% | 0%          |
|                              | その他の定期刊行物    | 4,574        | 4,556        | 100% | 29%         |
|                              | 小 計 (3)      | 4,587        | 4,580        | 100% | 29%         |
|                              | 合計 (1)+(3)   | 14,929       | 15,739       | 105% | 99%         |
| 合計 (1)+(2)+(3)               |              | 15,100       | 15,930       | 105% | 100%        |

☆今年も輸出先をみてみよう。「単一シート」は32ヶ国（前年度は36ヶ国）。インドネシアが最高で昨年と1%違いの20%、次点が香港である。「辞典」は11ヶ国（昨年度は20ヶ国）。英国が最高で54%。「書籍類」は107ヶ国（昨年度は101ヶ国）。米国が最高で36%（昨年度は39%）、台湾11%、韓国10%と続いている。「絵本」を見ると、11ヶ国と昨年より1ヶ国増え、香港へ86%である。「新聞・雑誌」（週4回以上）は7ヶ国と、これも昨年より1ヶ国増え、韓国が顧客である。（その他の定期刊行物）は28ヶ国と6ヶ国減っている。因に「書籍類」の輸出先はアジアの国々はもとより、中東、アフリカ、西インド諸島、南米など広範囲におよぶ。

## 9. 参考資料（輸出通関統計）～Ⅱ

表9 10年間の輸出通関額対照表（単位 百万円）

| 暦年   | 書籍・辞書・絵本 |      |     | 雑誌・新聞 |      |     | 計      |      |     |
|------|----------|------|-----|-------|------|-----|--------|------|-----|
|      | 価額       | 前年比  | 指数  | 価額    | 前年比  | 指数  | 価額     | 前年比  | 指数  |
| 1997 | 17,606   | 94%  | 100 | 4,818 | 102% | 100 | 22,424 | 95%  | 100 |
| 1998 | 17,314   | 98%  | 98  | 4,511 | 94%  | 94  | 21,825 | 97%  | 97  |
| 1999 | 15,280   | 88%  | 87  | 4,528 | 100% | 94  | 19,808 | 91%  | 88  |
| 2000 | 14,378   | 94%  | 82  | 4,404 | 97%  | 91  | 18,782 | 95%  | 84  |
| 2001 | 13,848   | 96%  | 79  | 4,302 | 98%  | 89  | 18,150 | 97%  | 81  |
| 2002 | 13,449   | 97%  | 76  | 4,311 | 100% | 89  | 17,760 | 98%  | 79  |
| 2003 | 12,799   | 95%  | 73  | 4,283 | 99%  | 89  | 17,082 | 96%  | 76  |
| 2004 | 11,330   | 89%  | 64  | 4,492 | 105% | 93  | 15,822 | 93%  | 71  |
| 2005 | 10,342   | 91%  | 59  | 4,587 | 102% | 95  | 14,929 | 94%  | 67  |
| 2006 | 11,159   | 108% | 63  | 4,580 | 100% | 95  | 15,739 | 105% | 70  |

☆1997年から10年間の輸出額の推移である。書籍類を見ると、1997年を100（指数）として2006年は63と低い（為替の変動は考慮せず）。書籍類の輸出先が100ヶ国余ある事実は日本人の海外進出の広さを示唆している筈であり、減小の理由のひとつとして辞書・辞典類などのCD化が大きいのではないかと考えたので、2006年度のCD-ROM輸出額を検索した。（1）類は¥21,918百万、輸入と比較して56%に匹敵する。書籍類輸出額の減少分がここに形を変えた可能性大であろう。参考までに（2）類を見ると¥25,169百万、輸入額の80%に匹敵する量である。

## 10. 輸入：輸出の比率対照表

表10 書籍・雑誌の輸入対輸出の歴史（書籍類+雑誌類）

| 分類 | 1985 | 1995 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 輸入 | 45%  | 65%  | 73%  | 76%  | 76%  | 77%  | 77%  | 77%  | 77%  |
| 輸出 | 55%  | 35%  | 27%  | 24%  | 24%  | 23%  | 23%  | 23%  | 23%  |

☆出版物の輸出が大幅に伸びたのは、リプリント版やBJIEの時代で、2000年以降は表の示すとおり同率で推移している。

## 11. 為替相場の動向と輸入額への影響度

表11 為替相場の動向と影響

| 通貨     | 2003年の<br>年間平均<br>為替相場 | 2004年の<br>年間平均<br>為替相場 | 2005年の<br>年間平均<br>為替相場 | 2006年の<br>年間平均<br>為替相場 | 前年比<br>[(+)は円高<br>(-)は円安] | 決済通貨の<br>推定使用率 | 2006年度の<br>(vs. 2005)<br>推定影響度 |
|--------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|---------------------------|----------------|--------------------------------|
| US\$   | ¥115.99                | ¥108.67                | ¥110.21                | ¥117.37                | -6.5%                     | 71%            | 96.9%                          |
| Stg.£  | ¥189.41                | ¥199.16                | ¥200.27                | ¥218.43                | -9.1%                     | 2%             | 94.2%                          |
| EURO   | ¥131.02                | ¥134.98                | ¥132.92                | ¥147.64                | -11.1%                    | 1%             | 92.1%                          |
| CAN\$  | ¥82.88                 | ¥83.56                 | ¥91.05                 | ¥104.18                | -14.4%                    | 1%             | 88.7%                          |
| S.Fr.  | ¥86.21                 | ¥87.48                 | ¥88.43                 | ¥93.79                 | -6.1%                     | 1%             | 97.3%                          |
| Others | ～                      | ～                      | ～                      | ～                      | 0.0%                      | 1%             | 0.0%                           |
| Jpn.¥  | ～                      | ～                      | ～                      | ～                      | 0.0%                      | 23%            | 0.0%                           |
| 加重平均   | ¥121.10                | ¥122.77                | ¥120.56                | ¥129.04                | -7.0%                     | 76%            | 93.9%                          |

☆推定のベースとして5主要通貨（銀行筋の公示中値月申平均値）の加重平均、その他決済通貨としての使用率の低い外貨については前年比（変動率）を“0”と仮定した。2005年と2006年の平均為替レートは、決済通貨の推定使用率を考慮に入れた数値である。

注：為替レートは三菱東京UFJ銀行からご提供いただいた“同銀行による「2006 TTS月別平均明細」”を使用した。ご協力に深く感謝申し上げます。

## 12. 10年間の推定成長率一覧表

表12 推定成長率の推移

| 区分<br>年 | 書籍・雑誌輸入額の<br>前年比 | 主要通貨の為替相場<br>加重平均値前年比 | 円高/円安調整後の<br>推定成長率 |
|---------|------------------|-----------------------|--------------------|
| 1997    | 109.0%           | -8.0%                 | 1.0%               |
| 1998    | 101.0%           | -6.1%                 | -5.1%              |
| 1999    | 90.6%            | 15.0%                 | 5.5%               |
| 2000    | 101.1%           | 13.5%                 | 14.6%              |
| 2001    | 117.4%           | -9.4%                 | 7.9%               |
| 2002    | 97.9%            | -6.4%                 | 2.6%               |
| 2003    | 100.4%           | -2.3%                 | -5.5%              |
| 2004    | 90.1%            | -1.4%                 | -4.6%              |
| 2005    | 97.0%            | -1.5%                 | -1.1%              |
| 2006    | 103.6%           | -9.4%                 | -6.1%              |

"If the mountain will not come to Mahomet,

Mahomet must go to the mountain."

これは、望みどおりに成功しないときは、誇りを捨てみずから努力して目的を達成しなければならない、という諺である。問題多い時代である。しかし、ひとつ分かっていることは「チャレンジ精神」が大切だ、ということ。「棚ぼた」はないのだから。

（おわり）

# "NEJM"—195年の歴史を誇る医学雑誌の世界的権威



## The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE



本誌は創刊 195 周年を迎える、世界で高く評価されているアメリカの内科系総合医学雑誌です。毎週最新の研究論文を発表する一方で、急を要する重要な情報はウェブで先行発表しています。その絶大なる影響力は多方面にわたり、全世界で約 20 万人に購読されています。「日本国内版」には目次、主要論文のアブストラクト、主要記事を簡潔にまとめた This Week in the Journal が日本語で掲載され、多忙な医師でも簡単に目を通すことができるため好評を博しています。

- 2007 年 (Vol.356-357) 年間購読価 週刊
  - ・個人 34,650 円 [本体 33,000 円 + 税 5 %]
  - ・団体 99,750 円 [本体 95,000 円 + 税 5 %]
  - ・レジデント 23,100 円 [本体 22,000 円 + 税 5 %]
  - ・学生 21,000 円 [本体 20,000 円 + 税 5 %]
- ※レジデント・学生でのお申込みには 証明書 が必要です
- 専用バインダー < 1 年分 : 2 冊 >
  - 7,980 円 [本体 7,600 円 + 税 5 %]

## Journal Watch

- 年 24 回 (月 2 回) 発行
- 8 ページのコンパクトなニュースレター
- NEJM, JAMA, Lancet, Ann Intern Med, BMJ などの主要な医学雑誌約 50 誌の中から毎月 55 ~ 60 論文を要約
- 要約には原論文の出典が明記
- 重要情報は適宜特別記事として掲載
- オンラインは週 2 回更新 (購読者のみフルアクセスが可能)

- 2007 年 (Vol.27) 年間購読価 月 2 回発行
  - ・個人 28,350 円 [本体 27,000 円 + 税 5 %]
  - ・団体 48,300 円 [本体 46,000 円 + 税 5 %]
  - ・レジデント・学生 13,650 円 [本体 13,000 円 + 税 5 %]
- ※レジデント・学生でのお申込みには 証明書 が必要です
- 専用バインダー < 1 年分 >
  - 4,200 円 [本体 4,000 円 + 税 5 %]

The New England Journal of Medicine の  
発行元 Massachusetts Medical Society が  
発行する論文サマリー集



**nkdp** 日本総代理店 **南江堂洋書部** [www.nankodo.co.jp](http://www.nankodo.co.jp)

〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目 42-6 TEL: 03-3811-9950 FAX: 03-3811-5031  
E-mail: [nkdyosho@nankodo.co.jp](mailto:nkdyosho@nankodo.co.jp)